



講座のご案内

2022年11-12月号

お申し込み



このご案内を見た方はどなたでも講座へ参加ができます。

まずは知りたい！電磁波の学習会

2回連続〈オンライン〉

電磁波について日本ではメディアによる情報も少なく、よくわからない状況となっています。電子レンジ・スマートフォン・パソコン・IH 調理器などの家電製品から、スマートメーターや携帯基地局などに広がる電磁波曝露のリスクと対策を学習します。参加費は1・2回各1,000円です。(事前お振込み)

第1回 「電磁波環境の現状と健康リスク」

2022年11月30日(水) 10時30分～12時30分

◆講師 上田昌文さん

NPO 法人市民科学研究室 代表。大学では生物学を専攻。1992年から科学技術関連の社会問題を学習し調査する、市民による活動を開始。



◆講演内容

- ・電磁波って？ ・身体への影響
- ・5Gによる電磁波曝露 他

第2回 「家の中の電磁波の状況と対策」

2022年12月8日(木) 10時30分～12時30分

◆講師 新井伸宏さん

ひと・すまい・くらし一級建築士事務所
一級建築士、一級電磁波測定士



◆講演内容

- ・電磁波についてのおさらい ・高周波対策について
- ・家の中の電磁波の現状と対策 他

日本の近未来の縮図 芝園団地(川口市)を歩く

川口市はもともと外国人住民の多い自治体ですが、そのなかでも UR 川口芝園団地は約5千人の住民の半数以上が外国人です。その歴史や住人をつなぐ実践について、圓山さんのお話を聞きながら団地の中を案内していただきます。12時解散後は敷地内のお店で自由に昼食やショッピングを楽しみます。定員12名。(雨天決行)

12月12日(月) 10時20分集合
JR 京浜東北線 蕨(わらび)駅改札口
◆参加費 1,000円

◆案内人 圓山 王国 (まるやま おうこく) さん
学生ボランティア「芝園かけはしプロジェクト」代表。芝園団地で、多文化・多世代の住民がともに安心して暮らせる地域づくりを目指し、交流の場づくりや生活案内パンフレットづくりなどに取り組む。

[裏面に関連記事あり](#)



12月15日(木)
14時～15時30分

「2022年、
印象に残ったことは？」

今年もいろいろなことがありましたね～。koyaba カフェと一緒に振り返ってみましょう。

日本各地で外国にルーツを持つ住民が増えています。ここ埼玉県も例外ではなく、多様性について知り交流を深め、市民ができる多文化共生の実現について考えたいと、事務所からほど近い芝園団地を歩いてみました。※オモテ面に芝園団地を歩く企画があります。ご参加をお待ちしています。



●「団地」というイメージからは程遠い整然とした佇まいで、日本語で書かれていました。団地に居ながら外国を感じる。国内の商店には中国、韓国、ことができるエリアでした。古くから住む日本人の高齢者との食材を扱うスーパーもごく若い外国人家族を何とかな自然に存在していて、日ごろげようと自治会と芝園かけはしプロジェクトが始まった活なる独特の世界を感じました。多文化共生のまちづくりのヒントを貰えました。(菊)

●お恥ずかしい話ですが、芝園団地の存在も名前も今回初めて知りました。国籍だけでなく「古くから住んでいた住民と新しく移り住んだ住民との年代層が違いため接点がなく、それも溝を生む要因になる」という問題は、考えたことがなかったので新しい気持ちになりました。相互理解の正に架け橋として活動されてきたプロジェクト代表團山さんの淡々とした語り口に、積み重ねた実践の重みを感じました。(翠)

●住民の約半数は外国人、その9割が中国人という。高齢の日本人の住民と20〜30代の若い外国人住民やその家族がお互いを認め合いながら、できれば仲良く穏やかに暮らしていくにはどうしたらいいか。団地の外から通ってきているという芝園かけはしプロジェクトの青年たちは、地道な活動を根気よく続けていくことが大切だと話してくれた。他人事ではなく近い将来の私たちの社会を見るようで、社会の変化とそれに対応して変わっていくことの難しさ、問題の背景の複雑さなどいろいろと考えさせられた。(赤)

●普段でも、外国出身の人を見かけることが多くなった。今回の研修で、芝園団地での「芝園かけはしプロジェクト」や自治会の活動により、文化の違いや生活習慣の違いを理解しあう取り組みが続けられていることを知るいい機会になった。(飯)



画像の説明 右上：敷地内にある充実した品ぞろえのマーケット、左上：土日は親子でにぎわうという広場、左下：分別の説明のされたゴミや資源物の集積場 (当日は芝園かけはし PJ の方々に案内していただきました)



被災地を忘れない！ 1冊の本がつなぐ応援の輪

大人の学校は、被災地を応援しています。岩手県陸前高田市立図書館の本を充実させるための寄付を継続して行っています。

賛同いただける方は、生活クラブ本部 2階 大人の学校事務所まで本をお持ち下さい。

取扱いできないもの ISBNのない本、百科事典、個人出版本、マンガ、一般雑誌など。古いものや汚れているものはご遠慮ください。

再開しました！



大人の学校の本棚は、生活クラブ本部2階（川口市小谷場206）、階段を上り切ったところに設置しています。

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 大人の学校

〒333-0857 川口市大字小谷場 206

生活クラブ生協内

電話/ファックス 048-423-3313

メール otonano-gakkou@cure.ocn.ne.jp

お電話の場合は平日の10時～16時、それ以外の日時や不在の場合は留守電にご用件を録音してください。折り返しご連絡いたします。

大人の学校 スタッフのつづやき

ハロウインのさなか韓国ソウルの繁華街のひとつである梨泰院（イテウォン）で、おおぜいの若者が亡くなるという大きく痛ましい事故が起きた。2015年に梨泰院のホテルに泊まったことがあるが、当時から外国人や大使館が多く、私からするとちょっと近寄りたかった。

今回の事故の様子をみて自分なりに考えると、個々人が危険を事前に予測する、察知することがもっと必要なのではないだろうか、ということ。スマートフォンなどを手にしていると、どうしても目先のものだけに気を取られてしまう。繁華街や雑踏などでは特に、遠くのほうも広く視野に入れながら、自分がいまどういう状況のなかにいるのかということ把握し、そして今後どう動くべきかをこまめに判断することが大事なのではないかと自戒を込めて思う。

亡くなられた方々のご冥福を祈る。

(いーはとーが)